

LPガスCP情報(2015年1月積み)

1. 1月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン **425** ^{ドル} (前月比 -125 ^{ドル})
ブタン **470** ^{ドル} (前月比 -100 ^{ドル})

① LPガススポット市況

LPガス市場をみると、供給が潤沢なのに対し消費国の購買意欲は弱く需給緩和感が強い。原油市況、石油製品市況が急落するなか、LPガススポット市況は大幅に続落した。CP先物は軟調に推移、期先は4月までコンタンゴ(期先高)だが9月まで緩やかな傾斜で動意が薄い。極東CFRは月間で乱高下する中軟化、第3週でプロパン450 ^{ドル}、ブタン510 ^{ドル}と前月末から130~100 ^{ドル}下落。フレート市況は船舶需給緩和で軟化、前月から10 ^{ドル}の下落、バンカーオイルは300 ^{ドル}台で前月比100 ^{ドル}以上の急落。ナフサも原油市況の急落で第4週は507~487 ^{ドル}まで下げており月間平均前月比130 ^{ドル}の大幅続落、堅調なブタン需要も石化はナフサシフトか。一方、米モントベルビュープロパンスポット価格は、原油市況の軟化を受けて5日に300 ^{ドル}割れ、プロパン在庫の減少で一時的反発したが、29日には266 ^{ドル}に再軟化した。

1月CPは前年同月比プロパン585 ^{ドル}、ブタン550 ^{ドル}の下落、半額以下となった。原油急落、シェール革命の影響が顕著になってきた。

原油(A・L)熱量等価換算では前月に比べプロパン3ポイント下落、ブタン3ポイントの上昇、前年同月比ではプロパン25、ブタン18ポイント低い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	74	70	70	62	69
CP先物指標:P	465	428	420	400	428
CP先物指標:B	495	473	480	445	473

② 原油市況等

原油市況をみると、12月WTIは69 ^{ドル}でスタートしたが急落して推移、31日には53.27 ^{ドル}まで値を沈めた。11月OPEC総会で減産合意ができず、サウジはじめシェア重視の方針を表明、一方、米原油生産量はEIA統計(1983年~)で最高の914万bbl/dを記録、世界的供給過剰感が高まった。シェール革命の影響がOPECをして減産を見送らせ、エネルギー市場に劇的な変化をもたらした。FRBの金融政策を受け投機資金がドル高・株式(最高値更新)にシフトされ、原油先物市場は大引投機玉の買越残高が28.4万枚と過去最高を更新した6月から40%の減少、手仕舞い売りが進んだ。

○12月積みアラビアンライト(12月1~31日)は60.601 ^{ドル}(前月比-15.421 ^{ドル})

熱量等価AL100% プロパン496.87 ^{ドル}/トン ブタン490.05 ^{ドル}/トン
AL比 プロパン 85.54% ブタン 95.91%

2. 2014年12月~2015年1月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
16~15日①	120.42	51,179	56,597	-14,600	-11,600
26~25日②	120.04	58,500	62,400	-8,200	-4,900
1~30日③	120.41	58,700	62,600	-9,300	-6,000

*TTS平均は①が12月16日~12月30日まで、②は11月26日~12月25日

③は12月1~30日、①は2月仕切への影響、②~③は1月仕切適用。②、③は前月・当月CP50%案分。詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切は、フレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、税制、制度変更や為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。